

令和7年度 地域創生関係交付金 事業効果検証シート（年度報告）

No.	交付金対象事業名			事業の目的・概要	
1	恵那未来キャンパス構想の実現			コロナ禍における働き方の変化に伴い、ICTの活用及びICT人材育成の重要性が増していることから、新しい学びの場「恵那未来キャンパス」を整備・運営する。幅広い世代に学びの場を提供するとともに、地域との交流促進を図る。大学と連携したプログラミング講座などのICT人材育成講座や、育児中の母親の社会復帰・スキル習得支援講座などを実施する。また、サテライトキャンパスの誘致を目指し、大学の地域実習・ゼミ合宿などの受け入れ、大学生と地元高校生との交流促進を行う。	
事業開始		事業終了	事業期間		
令和5年4月		令和8年3月	3年間		
担当部署		交付金種別	広域		
企画課（SDGs推進室）		推進	—		
No.	事業名		対象事業経費（円）	うち交付金充当額（円）	事業内容（R7実施内容）
1	恵那未来キャンパス構想の実現		¥9,387,636	¥4,693,817	今年度は、高校生を対象としたプログラミング講座について、より進路に活かせる内容で実施した。また、昨年度に引き続きITスキル全体の底上げを意識し、多彩な小学生向けプログラミングワークショップも開催した。併せて、在宅でも仕事ができるスキルを学ぶ講座も複数開催し、多様な働き方の支援を行った。 フリースペースとして自習やコワーキングでの利用を促進しており、特にテスト期間前後は平日・休日を問わず高校生の利用が多く、社会人の利用についても以前より増えている。
合計			¥9,387,636	¥4,693,817	

No.	KPI	単位	事業開始前		R5年度	R6年度	R7年度
					1年目	2年目	3年目
①	市外転出者のうち「職業上」を理由とする者の割合	%	44.20	目標値	43.27	42.34	41.41
				実績値	38.80	38.70	43.80
				達成率	100.0%	100.0%	94.5%
②	20～39歳女性人口に占める20～39歳女性転出者の割合	%	2.63	目標値	2.37	2.11	1.84
				実績値	11.77	9.36	10.56
				達成率	20.1%	22.5%	17.4%
③	大学生がまちづくり活動に携わった回数	回	9	目標値	11	13	15
				実績値	0	5	5
				達成率	0.0%	38.5%	33.3%
④	高校生の市内事業所への就職率	%	20.68	目標値	22.12	23.56	25.00
				実績値	21.47	20.16	20.00
				達成率	97.1%	85.6%	80.0%

KPIの状況、未達成の理由等	KPI①及びKPI②は目標値には届かなかったが、各種スキルアップ講座や若い女性向け講座の充実に向け、今後も取り組んでいく。KPI③は目標値には届かなかったものの、大学生のまちづくり活動への参加回数は前年度と同水準の5回を維持しており、新設した活動補助金の周知を図りながら、大学生との関わりを一層深めていく。KPI④については目標値には未達であるものの、令和7年度に初めて高校生による探究発表会を実施し、地域とのつながりを再認識する機会を提供できた。今後も、高校生が地域課題等に取り組む機会の提供や、プログラミング等のスキルアップ講座の充実を図っていく。
----------------	---

(1) 担当課における効果検証

事業の効果	事業効果	③ 地方創生に効果があった
	理由、状況等	自習スペースは引き続き高校生の利用が多く、テスト期間中や受験シーズンにはほぼ満席となる日も続くなど、自習の場として市民のニーズに応える存在として定着してきている。あわせて、各種講座を通じて継続的に学び、スキルアップを図りながら自身の目標に近づいていく利用者が増えており、こうした利用者の広がりが、昨年度に引き続き地域活性化への好循環を生み出している。
今後の方針	今後の方針	① 事業の継続
	理由、改善点等	講座については、恵那未来キャンパス企画会議において内容を深めるとともに、ステークホルダーを増やしなが関係機関との連携を進め、ニーズに合った講座を開催していく。あわせて、認知度向上のため、SNSでの情報発信や高校との連携も継続していく。

(2) 外部有識者による効果検証

外部有識者からの意見	
------------	--

外部有識者による事業評価	評価	
	意見	

令和7年度 地域創生関係交付金 事業効果検証シート（年度報告）

No.	交付金対象事業名			事業の目的・概要	
2	恵那市たべる推進事業			「恵那ふうど認証制度」では、地元産農畜産物や食文化を活用した商品開発やサービス提供を推進する。令和5年度からは市内事業者を認定し、本格稼働する。「発酵のまちづくり」では、発酵食品の普及を図る取り組みとして、発酵食品ソムリエの育成、新商品開発、食育活動、全国発酵食品サミットの開催などを行う。「地域商社ジバスクラム恵那」では、地域の農畜産物の販売や流通を担い、地元事業者と農家を結びつけるため、自社ECサイトの拡充や物流の効率化を進める。この取り組みにより、地域経済の活性化や食の安定供給に寄与する。	
	事業開始	事業終了	事業期間		
	令和5年4月	令和8年3月	3年間		
	担当部署	交付金種別	広域		
	農政課	推進	—		
No.	事業名	対象事業経費（円）	うち交付金充当額（円）	事業内容（R7実施内容）	
1	恵那市ふうど認証	¥480,000	¥240,000	恵那ふうど認証のPR、事務局運営支援委託	
2	発酵のまちづくり推進	¥883,000	¥441,500	発酵の学校開催	
3	地域商社ジバスクラム恵那	¥6,600,000	¥3,300,000	販売促進及び商品開発等事業費	
合計		¥7,963,000	¥3,981,500		

No.	KPI	単位	事業開始前		R5年度	R6年度	R7年度
					1年目	2年目	3年目
①	市内飲食店が使用する食材の地元産調達率	%	29.80	目標値	33.20	36.60	40.00
				実績値	26.10	27.20	28.10
				達成率	78.6%	74.3%	70.3%
②	恵那ふうど認証取得事業者数	事業者	0	目標値	10	20	30
				実績値	18	21	36
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%
③	地域商社ジバスクラム恵那の売上高	千円	11,837	目標値	86,000	92,000	98,000
				実績値	64,946	97,494	137,028
				達成率	75.5%	100.0%	100.0%
④	認定農業者数	人 事業者	74	目標値	75	76	77
				実績値	77	72	70
				達成率	100.0%	94.7%	90.9%

KPIの状況、 未達成の理由等	KPI①について未達となる。恵那ふうど認証、発酵新商品開発補助などにより、地元農産物を利用する意識が高まっているものの、令和7年度は目標を達成できなかった。 KPI②について達成である。この取組により市民の食や地元産農産物への関心が高まり、飲食店の認証取得につながった。恵那ブランド認定事業とも連携し、地域の農家と繋がりたい事業者、SDG s に関心のある事業者の掘り起こしを商業団体と連携して事業を実施していく。 KPI③について達成である。地域商社として地元農作物の域内外での販売を展開している。市内の宿泊事業者とも連携し、消費者に選ばれる特色ある農産品を提供できた。アウトドア、レジャー等宿泊や観光との連携によりさらなる販路拡大が必要である。 KPI④について未達となる。令和7年度は新規の認定農業者は1件増加したが、高齢を理由として2件の認定農業者が認定辞退、1件の認定農業者が認定機関を変更したため、全体で2件の減少となり目標を達成できない見込みとなった。現在、認定農業者の基準を満たしていないものの市の支援を受けて新規就農した者が12名いる。これらの者の規模拡大等、認定農業者取得に向けた支援を継続する。
--------------------	--

(1) 担当課における効果検証

事業の効果	事業効果	③ 地方創生に効果があった
	理由、状況等	商品やサービスづくりにオール恵那で取り組み、恵那市らしさを地域の魅力として磨き上げることで、地域の強靱な基盤となる域内循環・社会の形成を推進している。 地消地産とSDG s に取り組む市内事業者を認証する「恵那ふうど認証」、市民の食を支える認定農業者の数は増加しており、事業の効果があつた。
今後の方針	今後の方針	① 事業の継続
	理由、改善点等	生産、加工、消費に関する市内の食産業をつなぐことで商品やサービスの高品質化、高付加価値化と資源循環の取組が進展し、市内経済の持続可能性が高まる。市内で生産する農産物の調整やジバスクラムにおける商品開発支援や販路拡大支援に関する強化などの課題を修正しながら事業を継続する。

(2) 外部有識者による効果検証

外部有識者からの意見	
------------	--

外部有識者による事業評価	評価	
	意見	

令和7年度 地域創生関係交付金 事業効果検証シート（年度報告）

No.	交付金対象事業名			事業の目的・概要	
3	地歌舞伎小屋機能向上事業			地歌舞伎小屋の利便性を向上させ、あわせて地歌舞伎を体験する場を増やすことによって、多くの担い手が集まるきっかけとなるとともに次世代への継承者不足という課題解決につながり、地域全体で伝統文化を活かしたまちづくりを進めることができるため。整備した地歌舞伎小屋は市と地域が協力して発信力を向上させるとともに他の伝統芸能行事や音楽イベントなど多様な利活用を図る。	
	事業開始	事業終了	事業期間		
	令和7年4月	令和10年3月	3年間		
	担当部署	交付金種別	広域		
	文化課	推進	—		
No.	事業名	対象事業経費（円）	うち交付金充当額（円）	事業内容（R7実施内容）	
1	宮盛座建築物整備	¥47,921,257	¥23,960,629	・外壁等改修 34,947,000円 ・舞台照明改修 2,578,000円 ・浄化槽等設置 10,396,257円	
2	地歌舞伎小屋（宮盛座）子ども歌舞伎講座	-	-	※令和8年度より開始	
合計		¥47,921,257	¥23,960,629		

No.	KPI	単位	事業開始前		R7年度	R8年度	R9年度	R8年度	R9年度	R10年度
					1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
①	市内歌舞伎保存会の会員数	人	114	目標値	130	146	162	178	194	210
				実績値	130					
				達成率	100.0%					
②	地歌舞伎小屋（宮盛座）の年間利用人数	人	295	目標値	400	900	1,400	1,550	1,700	1,800
				実績値	40					
				達成率	10.0%					
③	地域の文化や風習を生活の中で感じている市民の割合	%	63.80	目標値	65.80	69.00	72.50	75.50	78.50	81.00
				実績値	72.90					
				達成率	100.0%					

KPIの状況、未達成の理由等	KPI①については、達成しているが、引き続き歌舞伎団体と協力し、PR活動に努め会員数の増加を目指す。 KPI②については、令和7年度は宮盛座改修工事により施設の利用が制限され、歌舞伎公演等が実施できなかったため未達成である。各種イベントを実施し、KPI達成を目指す。 KPI③について、達成しているが、引き続き伝統芸能行事や、地域のイベントを積極的に開催し、市民の意識向上に努める。
----------------	--

(1) 担当課における効果検証

事業の効果	事業効果	③ 地方創生に効果があった
	理由、状況等	外壁の改修、建具の更新などによる外観のイメージアップはもちろん、トイレの水洗化など、改修工事により利便性が大きく向上した。地元関係者や歌舞伎団体は大きな期待を寄せている。既に各種イベントが計画されていることから改修工事を実施したことをきっかけに更なる有効活用が期待できる。
今後の方針	今後の方針	① 事業の継続
	理由、改善点等	改修工事により利便性が向上した歌舞伎小屋を積極的に活用し、地歌舞伎をはじめとする伝統芸能行事を体験する場を増やし、多くの担い手が集まるきっかけとし、継承者不足という課題解決につなげ、地域全体で伝統文化を活かしたまちづくりを進める。改修工事により施設の利便性が向上したことを発信し、新しい伝統芸能行事や音楽イベントなど多様な利活用を図る。

(2) 外部有識者による効果検証

外部有識者からの意見	
------------	--

外部有識者による事業評価	評価	
	意見	

令和7年度 地域創生関係交付金 事業効果検証シート（年度報告）

No.		交付金対象事業名		事業の目的・概要		
4		世界ラリー選手権（WRC）をいかした三河・東濃地域の山村及び産業振興に向けたまちづくり事業		国内で初めて地方自治体が主体となってWRCを開催し、愛知県豊田市及び岐阜県恵那市を中心とする三河・東濃地域において、官民が連携して「ラリーをいかしたまちづくり」を行い、山村振興と産業振興を図り、地域の経済基盤の強化、就業機会の創出、生活環境の整備に取り組む。 ※令和３年度は豊田市の単独事業。令和４年度から恵那市が参加。		
事業開始		事業終了	事業期間			
令和４年４月		令和８年３月	４年間			
担当部署		交付金種別	広域			
ラリーまちづくり課		推進	○			
No.		事業名		対象事業経費（円）	うち交付金充当額（円）	事業内容（R7実施内容）
1		WRC継続開催による地域活性化事業		¥436,666,000	¥218,333,000	①WRC競技費 ②イベント開催・チケット販売料等
2		WRC開催とそのインパクトを生かした地域活性化事業		¥14,000,000	¥7,000,000	①都市部及び山村部での賑わい事業費等
3		クルマを安全・安心に楽しめ、環境問題の解決に寄与する事業		¥5,491,633	¥2,745,000	①TGRラリーチャレンジ開催支援 ②官民連携によるクルマを楽しめるまちづくりの推進
合計				¥456,157,633	¥228,078,000	

No.	KPI	単位	事業開始前		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
					1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
①	豊田市及び恵那市における主な観光施設やイベントの年間観光入込客数	千人	10,430	目標値	10,550	10,750	11,050	11,450	12,000
				実績値	10,886	11,037	12,748	12,863	13,458
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
②	WRCやモータースポーツに関連するイベントの集客数（のべ人数）	千人	0	目標値	100	260	460	700	1,250
				実績値	29	138	568	565	544
				達成率	29.0%	53.1%	100.0%	80.7%	43.5%
③	WRCに関連するイベント開催における豊田市及び恵那市への経済波及効果	百万円	0	目標値	500	1,300	4,300	8,300	18,300
				実績値	241	2,000	10,675	13,034	11,729
				達成率	48.2%	100.0%	100.0%	100.0%	64.1%
④	関連企業の自動車販売台数（登録車）	万台	145	目標値	150	155	160	165	180
				実績値	141	123	162	141	146
				達成率	94.0%	79.4%	100.0%	85.5%	81.1%

KPIの状況、未達成の理由等	KPI①の「年間観光入込客数」は、右肩上がりが増加を続け、最終年度においても目標値を達成できた。 KPI②の「WRCやモータースポーツ関連イベントの集客数」は、モータースポーツイベントの認知度向上及び集客拡大に向け、PR活動を継続的に実施した。これにより、県内外から多くの観客を集めており、集客数自体が大きく落ち込んだわけではないが、目標値には届かなかった。 KPI③の「経済波及効果」は、これまでの取り組みにより毎年度一定の水準で発生しており、地域経済への貢献は継続しているものの、目標値を下回った。 KPI④の「関連企業の自動車販売台数」についても、市場環境等の影響により目標値に達しなかった。
----------------	---

令和7年度 地域創生関係交付金 事業効果検証シート（年度報告）

No.	交付金対象事業名			事業の目的・概要	
5	恵那市アウトドア・リゾート拠点施設整備事業			恵那市根の上高原国民休養地の改修により、フルシーズン楽しむことができるグランピング施設を作り、アウトドア・パークの拠点とする。これにより、幅広い層の観光客を呼び込み、滞在時間を延長し消費を拡大する。さらに、施設を拠点として、市内各地域の自然資源体験を中心とした観光地の周遊を促進し、経済効果の創出と地域活性化を図る。将来的には、手ぶらでアウトドアを楽しめるグランピングの魅力を活かし、リニア中央新幹線や中部国際空港を通じたインバウンド観光客を誘致する。	
	事業開始	事業終了	事業期間		
	令和3年6月	令和4年3月	10か月		
	担当部署	交付金種別	広域		
	観光交流課	推進	—		
No.	事業名	対象事業経費（円）	うち交付金充当額（円）	事業内容（R7実施内容）	
1	WRC継続開催による地域活性化事業	¥0	¥0	令和3年度に完了 ロビーのカウンター及び壁の改修、照明の交換等のリノベーションなどを実施した。	
2	WRC開催とそのインパクトを生かした地域活性化事業	¥0	¥0	令和3年度に完了 宿泊棟（ドームテント）を10基設置し、グランピングエリアとして整備。管理棟の新築、ファイヤーピットの設置、既存のテニスコートを駐車場として整備した。	
3	クルマを安全・安心に楽しめ、環境問題の解決に寄与する事業	¥0	¥0	令和3年度に完了 ウッドデッキを8カ所（内屋根付き4カ所）、ファイヤーピットを8カ所設置。デッキ周辺に設置する家具やBBQセット等の備品を購入した。	
合計		¥0	¥0		

No.	KPI	単位	事業開始前		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
					1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
①	根の上高原国民休養地施設利用収入	千円	37,384	目標値	37,384	127,614	134,056	140,208	159,583
				実績値	27,509	118,179	114,683	136,219	142,617
				達成率	73.6%	92.6%	85.5%	97.2%	89.4%
②	根の上高原国民休養地宿泊者数	人	1,893	目標値	1,893	5,969	6,248	6,522	7,366
				実績値	6,001	10,945	9,728	10,948	11,194
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
③	市観光消費額	億円	87	目標値	87	95	96	97	100
				実績値	81	93	115	103	102
				達成率	93.1%	97.9%	100.0%	100.0%	100.0%

KPIの状況、未達成の理由等	・市観光消費額は令和6年度数値。 ・物価高騰の影響で低価格志向が強まり、素泊まりなど安価な利用が増えたことで、客単価が伸びず利用収入は目標に届かなかった。一方で、宿泊数や観光消費額は目標を上回り、アウトドア人気が落ち着く中でも安定した集客を維持できた。今後は、施設を拠点に市内の体験型アクティビティをつなぐ取り組みを進め、さらなる誘客につなげていく。
----------------	--